

自然保育推進事業 活動報告書

1 団体名: 松永幼稚園

2 今年度の活動概要

(1) 環境構成に関すること

松永幼稚園では、園庭には四季を彩る様々な花や樹木が植えられており、池には大きな錦鯉が、ピオトープにはメダカが泳いでいます。また、小鳥や白鳩なども飼育しており、夏にはカブトムシなどの虫のお世話もしています。また、隣接する公園にどんぐりを探しにいたり、清掃活動をしたりと、自然探究活動に積極的にかかわっています。

活動内容

・隣接する公園に桜の木の植樹

年長組の園児が、隣接するさつき公園に、福山市の許可をいただいて桜の木の植樹をおこないました。



・近くの神社に自然探索

11月の秋が深まる季節、年少組は近隣の神社に自然をもとめてお散歩にいきました。落ち葉や枯れ木、どんぐりを見つけてとてもうれしそうな園児。ひろったものは大切に持って帰りました。





・エピソード記録：氷の実験

ニュースでも連日とりあげられた10年に一度の大寒波襲来。例年、松永地区での降雪は年に1回あるかないか。登園すると鯉の池の噴水が凍ってつららができていたり、めだかのピオトープの水が凍っていたのを見て、子どもたちは何かひらめいた様子で準備を始めました。



池にはつららができています。



タイヤの中に水を入れて実験開始です。
看板には「こおりおついています」の文字



自分たちが準備した氷ができあがりました。
「みてみてー！！バナナみたいな
おもしろい形の氷がでいたよ！！」



じゃあ私たちはいろんな色の水を凍らせてみよう！！凍っているかなー！？



「あっ、凍ってるよ！！」「見せて見せて！！」

「すごい、おもしろい形だね。
どうやってつくったの！？」



じゃあぼくたちは紙を入れてみよう。

浮き上がってきたよ！実験だいせいこう！！

自然との関わりを感じるエピソードでした。